町の文化を支え続けて

荒木精之記念文化功労者顕彰

９月18日、町文化協会に所属する本田加代子（ほんだかよこ）さん（下原）が、ホテル日航熊本で開催された第67回熊本県芸術文化祭前夜祭にて、令和７年度荒木精之記念文化功労者顕彰を受賞されました。文化協会発足から50年弱にわたり、文化協会員として運営に携わり町と県の文化行政の橋渡し役としての功績が評価されたものになります。９月22日には吉本町長・二殿教育長を表敬訪問し、受賞を報告しました。

吉本町長・二殿教育長に
受賞報告をされた本田さん（中央）

最高級の牛を育てる

令和７年度中央支所畜産共進会が開催されました

10月３日、県家畜市場にて中央支所畜産共進会が開催されました。町からは、褐毛・黒毛和種合わせて９頭出品がありました。６頭が名誉賞、３頭が優秀賞を受賞しました。

町産の美味しいお肉を届けるために、皆さん日々努力しており、出品された牛たちは、毛並みがきれいに整えられ、力強さを感じる牛ばかりでした。

吉本町長と出品された畜産農家の皆さん

未来のリーダーが防災を学ぶ

ジュニアリーダー野外体験活動

10月３～４日、町ジュニアリーダーが、ふれあいの森研修センターで野外体験活動を行いました。

１日目は、町所有の段ボールベッドや簡易ベッド、防災テントを組み立て、避難所での生活を想定して準備や設営を行いました。また、段ボールで簡易トイレを製作し、身近な素材を活用して工夫する大切さを学びました。さらに、受付役と避難役に分かれて、受付対応などの避難所運営を模擬的に体験しました。

２日目は、防災食作りとネイチャーゲーム進行役のスキルアップ講座を実施。昼食は、ペットボトルでピザ生地を作り、レンガで作ったピザ窯で焼き上げました。火起こし体験では、舞（まい）ぎり式に挑戦し、火を起こす難しさを体感しました。午後からは、町防災士連絡協議会長北（きた）山正樹（やままさき）さん（東ヶ丘）による講話を聞き、防災意識を高めました。参加者の１人は、「実際に体験することで、災害時にどのように行動すれば良いのかイメージできた。学んだことを、いざという時にしっかり活用したい」と感想を述べました。

1．手作りピザを頬張るジュニアリーダーたち
2．舞ぎり式で火起こしにチャレンジ
3．段ボールでトイレ製作

高齢者に笑顔をお届けしました

人生100年！笑いでつながるプロジェクト

10月３日、介護付き有料老人ホーム「陽かりの郷」で、菊陽町70周年を記念したお笑い交流イベントを開催しました。吉本町長からのあいさつの後には、お笑い芸人のもっこすファイヤーさんが登場し、入居者14人と交流を深めました。

もっこすファイヤーさんと交流する入居者

芸を披露するキンキラー太さん（左）とばってん城次さん（右）

また、11月10日には「下津久礼サロン」にて同様のお笑いイベントを開催し、サロンに集まった町民27人とお笑い芸人のばってん城次（じょうじ）さん、キンキラー太（いった）さんが交流を深めました。

このイベントは、町と熊本県民テレビが締結した「地域活性化に関する包括連携協定」に基づく連携事業として実施したものです。お笑いを通じた交流イベントは、12月にも別の会場で開催する予定です。

地域環境に貢献

町建設業協会ボランティア活動

10月８日、甲斐浩二（かいこうじ）さん（上津久礼）が会長を務める町建設業協会のボランティア活動が町道杉並木公園線で実施されました。ボランティア活動に参加したのは、町内で建設業を営んでいる19社です。

道路の景観美化のために例年実施しており、今年は交通量が多く、通学路にもなっている同路線上の道路側溝の清掃を行い、地域の快適な環境づくりに貢献しました。

町建設業協会の皆さん

道路側溝の清掃作業

刊行500号を記念して

菊陽町老人クラブ「若竹会」が受賞

10月９日に行われた第41回熊本県老人クラブ大会で、菊陽町老人クラブ「若竹会」が、昭和56年４月１日の会を立ち上げて以降、毎月１回発行し続けてきた刊行物「若竹だより」が500号を達成したことが評価され、県内の優良老人クラブに選ばれ、表彰されました。

若竹会を代表して受賞する古庄（ふるしょう）会長（右）

めざせ50点！白熱のモルック大会

第４回菊陽町子ども会モルック大会

優勝した、えきまえ４チーム

10月12日、第４回菊陽町子ども会モルック大会が光の森防災広場で開催されました。参加者は20チームの総勢87人。

モルックは、フィンランド発祥のスキットルスポーツで、木製のモルック棒を投げ、ピン（スキットル）を倒しながら得点を競うゲームです。今回の大会では、１チーム３試合行い、その合計点で順位を競いました。当日は、チーム同士が力を合わせて真剣勝負。歓声や笑顔があふれるにぎやかな大会となりました。試合は４チームが延長戦（モルックアウト）に突入し、最後まで目が離せない熱戦となり、接戦の末、「えきまえ４」チームが優勝を果たしました。大会は大いに盛り上がり、熱い戦いとたくさんの笑顔で、スポーツでつながる楽しさを実感した１日となりました。

大会の結果は次のとおりです。

【大会結果】

優　勝：えきまえ４（駅前子ども会）

準優勝：緑陽台ハート（緑陽台子ども会）

３　位：チームＢＡＢＡ（馬場子ども会）

真剣な表情でピンを狙う選手

モルックアウトでの熱戦

地元企業による地域貢献

㈱アスク工業および㈱ジョイントが卓球台・車いすを寄贈

10月14日、㈱アスク工業および㈱ジョイント（共に菊陽町）から、地域貢献として卓球台と車いすの寄付の申し出があり、寄贈式を行いました。

吉本町長に目録を手渡した上村信敏（うえむらのぶとし）代表取締役社長は「町民のために役立ててほしい」と話しました。

寄贈された卓球台と車いすは、今後町内の公共施設などで活用する予定です。

目録を贈呈した上村代表取締役社長（左）と吉本町長（右）

寄贈された卓球台と車いす

九州アジアリーグ優勝

火の国サラマンダーズが今シーズンの結果を報告

ユニフォームを手に、笑顔で記念写真

10月14日、町と「スポーツの力」で「地域の活力」を創造する連携協定を締結している「火の国サラマンダーズ」の野島（のじま）雄大（たけひろ）代表取締役、荒西祐大（あらにしゆうだい）ヘッドコーチ兼投手、大﨑太貴（おおさきたいき）野手総合コーチ兼選手、球団マスコットキャラクターのさら丸が2025シーズンの結果報告のため、来庁しました。

九州アジアリーグで見事優勝を収め、９月25日から栃木県で開催された日本独立リーググランドチャンピオンシップ2025へ出場。大会へは各リーグから７チームが参加。準決勝まで勝ち進みました。

野島代表取締役は、来シーズンのリーグ２連覇と、グランドチャンピオンの優勝を目標とすると語りました。

道具を使って稲刈り体験

田んぼの学校in白川中流域

足踏み脱穀機の体験を行う参加者たち

10月18日、町内在住の大竹計理（おおたけけいり）（下津久礼）さんの水田で「田んぼの学校in白川中流域」を開催しました。多数の児童が参加し、地元農家さんに稲刈りを教わりました。稲刈り後は、東海大学の市川勉（いちかわつとむ）教授の講演を聞き、熊本の地下水と白川の関係について学びました。足踏み脱穀機や千歯こき、唐箕（とうみ）などの昔の稲作道具を使った体験を行いました。体験後は、事前に収穫していた新米で作ったおにぎりを笑顔で頬張（ほおば）っていました。

地域をより美しく

シルバー人材センターが清掃活動

役場前での除草作業

10月18日、菊陽町シルバー人材センターの会員と職員約90人が参加し、役場周辺で清掃活動が行われました。

この活動は、地域社会への貢献とセンターを地域住民の皆さんに広く知っていただくために、年２回実施しているものです。

今回は役場前植栽帯の除草および、その周辺のごみ拾いを行いました。天候にも恵まれ青空の下、ごみゼロを目指して清掃活動ができました。

たくさんのご来場ありがとうございました

「くまもと県民の日」が開催されました

ファイナルステージを盛り上げた
Little Glee Monsterの皆さん

10月18日～19日、菊陽杉並木公園さんさん一帯にて、くまもと県民の日が開催されました。特設ステージでは朝の情報番組「ＺＩＰ！」による特別コラボステージやSEGA（セガ） SAMMY（サミー） LUX（ルクス）によるダンスコンテスト、Little（リトル） Glee（グリー） Monster（モンスター）によるスペシャルライブが開催され、会場は大きく盛り上がりました。また、スポーツ広場でのバルーン体験教室や、町総合体育館での“おでかけするよ！こどもでじまはく”では、非日常の体験に子どもたちは目を輝かせていました。外国人の来場者も多数あり、多くの町民に楽しんでいただけた笑顔あふれる２日間となりました。

開会式典でのテープカット

来場者を乗せて上がるバルーン

にぎわいを見せる食品ブース

新たなまちづくりについて

都市計画素案の説明会を開催

説明会場の様子

10月29日、菊陽町都市計画決定に係る都市計画素案の住民説明会を町総合体育館で開催しました。これは、県が開催した熊本都市計画区域マスタープラン改定および区域区分（線引き）の見直しに係る説明会と合同で開催したもので、約100人が参加しました。町からは、現在計画している（仮称）原水駅周辺土地区画整理事業の施行区域や用途地域、都市計画道路、公園区域拡張に関する素案や今後のスケジュールについて説明しました。

子どもの無病息災を願って

辛川亥（い）の子（こ）祭り

玄関前で石を３度地面につく子どもたち

11月２日、辛川地区で100年以上続いている「亥の子祭り」が午後６時から同地区で行われました。これは小学１年生から中学２年生までの男の子が今年１年間に生まれた子の家庭を回り、子の無病息災と子孫繁栄を祈る辛川地区の年中行事。今年は男の子15人が昔から引き継がれている縄がまかれた亥の子石をもって４軒の家を回りました。

今年は酒井煌晟（さかい こうせい）さん、小牧侑平（こまき ゆうへい）さん、山口智大（やまぐち ともひろ）さん、松本武篤（まつもと たけあつ）さん、西本珀琥（にしもと はくと）さんが頭（かしら）を務め、石を各家庭の玄関前へ運んだ後、みんなで大声を出しながら家の敷地前から玄関前へ走り、「わっしょい」と言いながら石を３回地面につきます。石を玄関に入れ、生まれた子どもの名前を呼んで全員で祝います。各家庭からは亥の子餅や菓子などが配られ、子どもたちは嬉しそうにしていました。

生まれた子どもの名前を呼ぶ

無病息災・子孫繁栄を祈る

亥の子餅や菓子などをもらい、
嬉しそうな男の子

私の地元を元気にしたい

明治安田生命熊本支社寄付目録贈呈式

梅野支社長（左）と吉本町長（右）

11月４日、明治安田生命熊本支社から「地域住民の健康増進」などとして本町へ寄付をされ、目録の贈呈式が行われました。

同社の「地元の元気プロジェクト」の一環で、「私の地元応援募金」により全国の支社・営業所などから集まった寄付金が本町にも贈られました。

梅野勝義（うめの かつよし）支社長は「従業員の地元への思いが込められています。町民の健康増進に向けた一助にしてください」と話しました。

介護事業者などとのフリートーク

わくわく座談会を開催しました

輪になって意見を交わす参加者

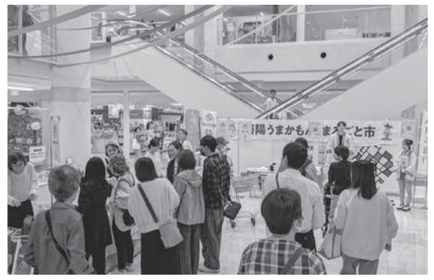
10月20日、町防災センターで高齢者支援をテーマに「わくわく座談会」を開催し、介護サービスの事業者や地域ボランティアなど９人が参加しました。

参加者は、介護人材の不足などの課題のほか、高齢者などの買い物支援やごみ出し支援の取り組みについて、吉本町長と意見交換を行いました。

座談会でいただいた意見も踏まえながら、高齢者支援事業に積極的に取り組みます。

菊陽のおいしいもの大集合

うまかもん！まるごと市を開催


来場者でにぎわう会場

10月25日、26日にカリーノ菊陽で「菊陽うまかもん！まるごと市」を開催しました。

町内事業者のこだわりの農産物や加工品、パンなどの地元のおいしい食品や雑貨が並び、たくさんの来場者でにぎわいました。

今後も、町では地元事業者の魅力発信と地域のにぎわいづくりに取り組んでいきます。

地域をよくする活動に貢献

セミコンテクノパーク協議会で通行禁止道路の通り抜け調査を実施しました

10月28日と29日の２日間、セミコンテクノパーク協議会は、令和６年度に従業員の通行禁止道路の見直し、毎年実施している通り抜け調査を実施しました。今年度は調査エリアを拡大し、町も調査に協力し、より広範囲にわたる調査が行われました。

通り抜け調査後、通行禁止道路を通行した車両については、各企業が従業員に対して通行禁止区域を通らないよう指導することとなっています。

今後もセミコンテクノパーク協議会は、地域の交通安全確保に向けた取り組みを進めていきます。

また、町も連携し、地域全体で安全で快適な交通環境をつくるために協力していきます。

通り抜け調査の様子

通行車両に向けた看板

にんじんの一大産地拠点が誕生

ＪＡ菊池にんじん選果場竣工式

11月４日、ＪＡ菊池菊陽中央支所にて、ＪＡ菊池にんじん選果場竣工式が行われました。吉本町長をはじめ、国会議員や農業者など計66人が参列。今回のにんじん選果場は、１日あたり65㌧以上が洗浄選別できる西日本最大級の選果施設となり、にんじんの一大産地拠点となることが期待されます。

新たな選果場でのテープカット

祝辞を述べる吉本町長

選果場で集められたにんじんは、県内のみならず広島県を中心とした西日本で販売されます。

町では建築や機械類に対する支援だけではなく、農業者が負担する手数料軽減のために、独自の支援を行うこととしています。また、選別過程で発生する規格外品を活用したにんじんジュース「うまcarrot」の利活用を促進し、食育や環境保全にも取り組んでいきます。部会長である上田晃太（うえだこうた）さん（柳水）は「全国的に注目されている菊陽町を『にんじんのまち菊陽』としてさらに印象付けられるよう、部会一丸となって生産規模拡大、品質向上に取り組む」とにんじん産地の形成に意欲を見せました。

本町の農地が復旧することを願う

農地の災害復旧支援に対する要望書を受け取る

11月10日に、菊陽町農地水広域協定の前田洋一（まえだよういち）会長（下津久礼）およびおおきく土地改良区菊陽理事の笠達也（りゅうたつや）さん（南方）の２人が、令和７年８月の豪雨による農地の被害を受け、国の補助基準に採択されず、復旧の見通しが立っていない農地について、町からの支援を求める要望書を吉本町長へ提出しました。

吉本町長は要望書を受け取り、「町の農業を守るため、しっかり支援していきたい」と述べました。

左から前田会長、吉本町長、笠さん

Happy Birthday

ぼくの わたしの 誕生日

こども園てんとうむし

松永（まつなが）　蘭姫（らんじえ）さん

令和４年12月26日生まれ（馬場）

体を動かすことや歌うことが大好きな蘭姫さん。毎朝、元気な声であいさつし、当番の日もやる気いっぱいです。

蔵座（ぞうざ）　明華（めいか）さん

令和５年12月８日生まれ（あさひヶ丘）

おしゃべりが上手になり、お集まりでは誰よりも一生懸命歌ってくれます。振り付けもとてもかわいいです。